

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース10月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

2014. 10. 24

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 提供同意書を更新しました ●-----

各種リソースの提供同意書の書式を更新しました。新規にリソースを請求される場合は更新版をご利用ください。下記ページに記載のないリソースの同意書についてはご請求ください。

http://epd.brc.riken.jp/order_top/order/orderf

-----● 学会における展示について ●-----

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）では恒例の展示企画を分子生物学会（11月25日～27日）にて開催します。理研BRCもブースを出展しますのでぜひお立ち寄りください。

<http://www.aeplan.co.jp/mbsj2014/>

-----● テクニカルサポート (No. 14) : 植物培養細胞の到着直後の取り扱いについて ●-----

植物培養細胞はチューブまたはシャーレに入れて宅急便でお送りします。到着後、速やかに新鮮な培地に植え継ぐことを推奨しています。その際の注意点について説明します。

1. 到着時に培養細胞が死んでいては増殖しません。その細胞の状態は肉眼ではわかりません。顕微鏡で観察し確認しておくことで安心です。
2. 懸濁培養細胞の増殖は細胞密度に依存することが知られており、移植時の細胞量が著しく少ないと増殖しにくくなります。培養細胞は輸送中にダメージを受けていると思われるので、到着直後の植え継ぎでは通常よりも多くの細胞を移植したほうがいいかもしれません。その次の植え継ぎも増殖の様子を見ながら行ってください。
3. 培養細胞を入れたチューブやシャーレはプラスチックバックに入れて密封し、微生物によるコンタミネーションが起こらないよう配慮しています。継代時にも、チューブやシャーレをクリーンベンチに入れる前に 70%エタノールでよく拭く、ピペットやピンセットの先端を容器の縁に触れないようにするなど注意してください。

問題が起こった場合や判断に困った場合には、 plant@riken.jp までご相談ください。

今後、当室では植物培養細胞に関するデータを蓄積するとともに公開情報を充実させていく予定です。

● お願い ●

リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に plant@brc.riken.jp までお送りください。

❀*:・'° ❀° '・*::. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❀*:・'° ❀° '・*::. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀